

あまなだより

鈴鹿市立天名小学校通信
No.11 令和4年 9月 12日

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

本年4月19日（火）に、小学6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。さらに、このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することが目的とされています。一方、調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面です。また、本校は小規模校で、対象学年の児童数も少ないのが現状です。このことを十分考慮し、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実していきます。

1 教科に関する調査の結果

2 各教科の結果分析

(1) 国語の結果分析

○● 3 三

【出題の趣旨】学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

【結果】漢字を書く問題が3問出題されました。「はんせい」は全国平均を15.2%上回っていましたが、「ろくが」は21.7%下回るなど、漢字によって大きな差が出ました。

はんせい	⇒	反省	本校	73.9%	(+15.2%)	全国	58.7%
したしむ	⇒	親しむ	本校	65.2%	(-1.9%)	全国	67.1%
ろくが	⇒	録画	本校	43.5%	(-21.7%)	全国	65.2%

【誤答分析】「録画」の正解者は10名で、不正解者は13人でした。不正解者のなかで8人が、「録」という字を書いていました。

【改善策及び指導内容】

- ・ 自主学習などで、自分なりの漢字の勉強方法を見つけさせる。
- ・ 文章や作文を書くときは、習った漢字を使うことを確実にさせる。

●全国平均から 20%以上下回った問題が 4 問ありました。そのうち 2 問が記述式の問題です。「50 字以上、80 字以内にまとめて書くこと」「60 字以上、100 字以内にまとめて書くこと」といった問題です。

具体的には次のような問題でした。

1 四 本校 26.1% (-21.6%)
全国 47.7%

【出題の趣旨】互いの立場や意図を明確にしなが
ら計画的に話し合い、自分の考えをまとめることが
できるかどうかをみる。

【改善策及び指導内容】話し合いの場面で、自分の
考えに対しての反論の場面で、「私は、…がよいと
考えました。…という問題点については、…するの
がよいと思います。」のような話型を意識して発表さ
せる。

3 二 本校 13.0% (-24.7%)
全国 37.7%

【出題の趣旨】文章全体の構成や書き表し方な
どに着目して、文や文章を整えることができる
かどうかをみる。

【誤答の特徴】

- ・無回答が5人と多かった。
- ・説明不足の解答が多く、具体的な描写が書かれていない解答が多かった。

【改善策及び指導内容】

- ・「あなたが〇〇さんなら、どのように書くか」というように、自分の感想を書くのではなく、第三者の立場に立って書く文章に慣れる。
- ・「自分の考えシート」などで、自分が書いた文章に対する感想や意見をお互いに伝え合い、自分の文章のよいところを改めて見つけさせる指導を行う。

四 同さんは、「話し合いの様子の一部」の [] で、「こみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで話そうとしています。あなたが同さんなら、どのように話しますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 「こみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選び、その問題点についての解決方法を考えて書くこと。
- 「話し合いの様子の一部」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※の印から書きましょう。どちらゆうで行を変えないで、続けて書きましょう。

みなさんのアイデアや(メモ)から、取り組みやすいという理由で、私は、

(問い) 鳥谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが鳥谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 「文章2」のよさを書くこと。
- 「文章2」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※の印から書きましょう。どちらゆうで行を変えないで、続けて書きましょう。

国語力を高める取り組みとして、教育委員会が提供するワークシートを毎週1回朝の学習時間に取り組みます。

(2) 算数の結果分析

算数は、全 16 問中 11 問が全国平均を上回っていました。国語で課題が見られた記述式の問題が 4 問あったが、全国平均と比べて、+21.6%、+14.9%、+11.0%、-14.0%と 1 問を除いて正答率は非常に良かった。

●課題が見られた問題

2 (3) 本校 21.7% (+0.3%) 全国 21.4% ※正答率が一番低かった問題。

【問題の概要】果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。

【出題の趣旨】示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。

【誤答の特徴】・果汁の意味や問題文の理解ができていない。

・「飲み物の量が1/2になると、果汁の割合も1/2」と答えた児童(17名)

【改善策及び指導内容】・日常の具体的な場面に対応させながら、割合について理解させる。

4 (1) 本校 34.8% (-14.0%)

全国 48.8%

※全国平均と一番差が大きかった問題。

【問題の概要】

示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す。

【出題の趣旨】

正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

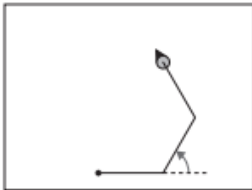
【誤答の特徴】

ほとんどの児童は「左に60°回転する」命令が正しくないことが理解できているが、正しい命令に直せておらず、イメージすることができていない。

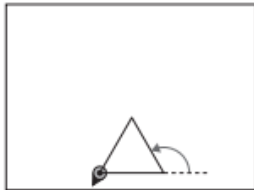
【改善策及び指導内容】

スクラッチ等のプログラミング学習を通して、プログラミングに慣れさせる。

はなこさんは、下のかこうとした正三角形をかくことができませんでした。



実際の結果



かこうとした正三角形

そこで、つくったプログラムを見直すことにしました。

つくったプログラム

- ① 5 cm の直線を引く。
- ② 左に 60° 回転する。
- ③ 5 cm の直線を引く。
- ④ 左に 60° 回転する。
- ⑤ 5 cm の直線を引く。

はなこ

5 cm の直線を引く。
左に 60° 回転する。
2 種類の命令のうち、
どちらかの命令を直すとかこうとした正三角形ができますね。

かこうとした正三角形をかくには、どちらの命令を直すよりですか。
下の ア と イ から選んで、その記号を書きましょう。また、その選んだ命令を、言葉と数を使って、正しい命令に書き直しましょう。

ア 5 cm の直線を引く。
イ 左に 60° 回転する。

(3) 理科の結果分析

理科は毎年実施されずに3年に1回程度実施されてきています。2020年度が新型コロナで全国学力学習状況調査が実施されませんでしたので4年ぶりになります。

●課題が見られた問題

- I (5) 本校 43.5% (-22.0%)
 全国 65.5%
 ※全国平均と一番差が大きかった問題。

【問題の概要】

育ち方と主な食べ物の二次元の表から気づいたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見だして選ぶ。

【出題の趣旨】

観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。


【誤答の特徴】

問題文には「『気づいたこと』をもとに」と書いてあるが、ゲンゴロウしか着目できていない。表を十分に分析できていない。





【改善策及び指導内容】

実験では、結果の交流だけにとどまらずに、「気づき」→「比較」→「分析・解釈」の流れをつくる

9月になり、ひろしさんたちは、ほかにも調べていたこん虫を下の表のように4つのグループに分けました。



主な食べ物については、「植物」と「動物」で分けたよ。
ひろしさん

		《こん虫の育ち方と主な食べ物》	
		育ち方	
		さなぎになる	さなぎにならない
主な食べ物	植物	1 モンシロチョウ  幼虫：キャベツの葉など 成虫：花のみつなど	2 ショウリョウバッタ  幼虫：ススキの葉など 成虫：ススキの葉など
	動物	3 ゲンゴロウ  幼虫：イトミミズなど 成虫：イトミミズなど	4 シオカラトンボ  幼虫：イトミミズなど 成虫：ハエなど

(5) ひろしさんたちは、左の表に、さらに調べたこん虫を加えているときに、次のことに気づきました。

【気づいたこと】

- ・幼虫のときにも、成虫のときにも、植物を食べるこん虫がいた。
- ・幼虫のときにも、成虫のときにも、動物を食べるこん虫がいた。
- ・表のこん虫以外で、成虫のときに植物も動物も食べるこん虫がいる。

ひろしさんは、【気づいたこと】をもとに、【問題】を見つけ、解決していくことにしました。どのような【問題】を見つけましたか。下の**1**から**4**までの中から最も適切なものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1** 表のこん虫以外で、さなぎになるこん虫は、いるのだろうか。
- 2** モンシロチョウの幼虫は、キャベツの葉を食べるのだろうか。
- 3** 表のこん虫以外で、幼虫のときに植物も動物も食べるこん虫は、いるのだろうか。
- 4** なぜ、ゲンゴロウの幼虫や成虫は、動物を食べるのだろうか。

3 児童質問紙調査の結果

児童質問紙は、児童の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。生活の諸側面や豊かな心も育成に関わること、学習環境や授業等の教育活動などへの問いがあります。

以下に本校の結果と特徴をまとめました。

【豊かな人間性（自己肯定感、社会への関心等）に関すること】

○地域の積極的な取り組みにより地域行事への参加はとても高い。

- 自己肯定感やチャレンジ精神が低い。昨年度も同様の傾向があり、本校児童の課題である。様々な行事を通して成功体験を積み重ねて自信をつけさせたい。

	本校	三重県	全国	全国との比較
自分には、よいところがあると思いますか	60.9	77.9	79.3	-18.4
将来の夢や目標を持っていますか	78.3	78.3	79.8	-1.5
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	60.8	72.8	72.5	-11.7
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100.0	97.1	96.8	+3.2
今住んでいる地域の行事に参加していますか	69.6	58.3	52.7	+16.9
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	47.8	50.2	51.3	-3.5

※数値は、各質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合(%)

【家庭生活（生活習慣）に関すること】

- 起きる時刻は一定なのに、寝る時刻が一定でない児童が30%いる。このことは睡眠時間が日によって異なることを示している

	本校	三重県	全国	全国との比較
朝食を毎日食べている	95.7	94.3	94.4	+1.3
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	69.6	80.7	81.5	-11.9
毎日、同じくらいの時刻に起きている	95.7	90.5	90.4	+5.3

この質問紙は睡眠時間の調査がないので、昨年この学年が5年生の時に行った全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果を参考として載せます。

睡眠時間	男子			女子		
	天名	県	全国	天名	県	全国
8時間以上	66.7	68.5	67.9	88.8	72.7	71.4

【学習習慣に関すること】

	本校	三重県	全国	全国との比較
家で自分で計画を立てて勉強をしているか (学校の授業の予習や復習を含む)	43.4	69.5	71.1	-27.7
平日の家庭学習が1時間以上の割合	52.2	56.5	59.4	-7.2
休日の家庭学習が1時間以上の割合	39.1	48.2	56.1	-17.0
平日の読書時間が10分以上の割合	43.4	56.8	59.6	-16.2
平日のゲーム時間が3時間以上の割合	43.5	33.1	30.7	+12.8
平日のSNS・動画視聴が3時間以上の割合	17.4	21.3	19.7	-2.3

放課後や週末 に何をして過 ごすことが多 いですか (複数選択)		家で勉強 や読書	学童保育 等に参加	地域の活 動に参加	学習塾等	習い事 (スポーツ を除く)	スポーツ (スポーツ に関する 習い事も 含む)	家でテレ ビや動 画、ゲー ムSNSを する	家族と過 ごす	友達と遊 ぶ
	本校	39.1	4.3	0.0	4.3	39.1	39.1	91.3	60.9	82.6
	三重県	48.2	5.6	3.3	22.5	39.7	43.3	83.2	73.7	60.3
	全国	52.2	4.7	3.4	24.1	36.3	42.7	82.1	72.5	61.6
	全国との比較	-13.1	-0.4	-3.4	-19.8	2.8	-3.6	9.2	-11.6	21.0

●家庭学習、読書の時間が非常に少なくゲーム時間が長い。本校児童のこの課題について、学校運営協議会と天名まちづくり協議会の青少年育成部会で解決方策について熟議をしていただきました。

- ・愛エンジェル隊に学習指導をしてもらう
 - ・地域振興部会の「天名歴史探索マップ」を活用した歴史講座
 - ・地域の人材バンクを作り出前講座を行う 等
- 多くの提案をいただきました。

その中で、次の2点について早速2学期から取り組んでいただくことになりました。

- ①ボランティアによる読み聞かせの回数を増やす。
具体的には毎週1回、業間の時間にボランティアさんに来ていただき、図書室で読み聞かせを行う。
- ②右の家庭学習達成表を配り、家庭学習の定着を目指す。この達成表は児童が取り組みやすいようにゲーム感覚を取り入れたもので、青少年育成部会の方が自作していただいたものです。

他の案につきましても地域、保護者と学校が協働し取り組めるものから取り組んでいただきます。

